

金 建 第 253 号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

金ヶ崎町長 高橋 由一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
このことについて、別紙様式にて意見・提案の提出をいたします。

道路は、経済・社会基盤としての交通機能を支える最も基礎的な施設であるとともに、通勤通学等のあらゆる日常生活を支え、また、災害時における避難路・輸送路等の重要な社会資本として、その整備への期待は、非常に高いものとなっており、道路整備の効果として①. ゆとりある交通、②. 生活環境の改善、③. 地域活性化の支援、④. 安全な交通等があげられる。

特に、東北地方では、高速道路ネットワークをはじめとする道路網の整備が全国に比べて遅れており、救急救命医療機関へのアクセス性の向上や地震等の災害時における緊急輸送道路網の確保と橋梁などへの耐震強化が重要な課題となっている。

今後、新たな社会資本整備重点計画等に基づき、活力ある地域づくり・都市づくりを推進するとともに、経済構造改革の実現、良好な生活環境の創造、安全で安心できる国土の実現を図るため道路網の整備等を長期的な視点に立って着実に、より一層促進することが不可欠である。

特に、金ケ崎町は、先端技術産業及び自動車産業等が集積する東北でも有数の工業地域となっており、これらの工業団地の流通を支える一般国道4号は、慢性的な交通渋滞に悩まされ騒音・振動など沿線住民はもとより一般道路利用者の通行にも大きな影響を与えている。

こうした中で、円滑な道路交通の確保を図る一般国道4号の4車線拡幅整備をはじめ、幹線道路である県道や生活に密着した市町村道についても広域的で計画的な整備を図り、交通混雑の緩和や危険箇所の解消等のため、道路整備を進めることが緊急の課題となっている。また、雪国の特殊事情として、物流の根幹をなす高速自動車道が冬期間においては、たびたび通行止めになり、並行する国道4号が大渋滞、道路機能が麻痺する状況が発生する。この状況に対応するためにも、国道4号の機能強化が急務となっている。

当町において遅れている道路整備を実現するためには財源の確保が必要不可欠であり、現在は「道路整備臨時交付金」を活用し進めている状況にあります。「道路整備臨時交付金」は市町村道路の整備にとって有効な制度であり同制度の存続・拡充を強く求めるとともに、あわせて「道路整備臨時貸付金」制度の存続を強く要望するものである。

②-1 地域の現状と抱える課題

岩手県金ケ崎町

○ 現状

一般国道4号は、金ケ崎町において隣接する北上市、奥州市水沢区をはじめとする南北方向の主要都市と更には釜石市等沿岸部を結ぶ、基幹産業道路としての機能を担っている最重要路線です。当町は、県内最大規模とされる岩手中部（金ケ崎）工業団地を有し、今後同工業団地内の誘致工場等における自動車一貫生産体制を敷く企業による生産規模の拡大が見込まれております。

当町内の一般国道4号は、金ケ崎町内がいまだ2車線であり、著しい交通渋滞が発生しており、誘致企業等の物流に大きな影響を与えております。今後国道4号沿線開発の進展とともに更なる交通渋滞が懸念される状況であります。

また、冬期間、国道4号に並行する高速自動車道が雪の影響により、たびたび通行止めが発生しており、そのたびに、国道4号が大渋滞し、交通機能が麻痺する状況となっております。

この渋滞回避のために、国道4号利用者は、町民の生活路線である町道や県道また特に町道蟹子沢・若柳線（通称農免道）を利用することから、騒音・振動の苦情はもとより、歩行者及び通学児童が危険にさらされ、交通事故が発生している状態のなかで、財政難の折り道路維持修繕が追いつかない状況となっております。

○ 課題

東北経済を牽引する誘致企業の物流を支援するために、国道4号の早期渋滞緩和を図る必要がある。また、冬期の積雪条件下及び、高速自動車道通行止め時においても、物流の定時性を確保できる道路機能・能力確保が急務である。

国道4号の渋滞緩和を実現し、沿道環境の改善が急務とされております。

地域の目指すべき将来像としては、特に東北地方では、高速道路ネットワークをはじめとする道路網の整備が全国に比べて遅れており、救急救命医療機関へのアクセス性の向上や地震等の災害時における緊急輸送道路網の確保と橋梁などへの耐震強化が重要な課題となっている。

今後、新たな社会資本整備重点計画等に基づき、活力ある地域づくり・都市づくりを推進するとともに、経済構造改革の実現、良好な生活環境の創造、安全で安心できる国土の実現を図るため道路網の整備等を長期的な視点に立って着実に、より一層促進することが不可欠である。

また、金ケ崎町においては、先端技術産業及び自動車産業等が集積する東北でも有数の工業地域となっており、これらの工業団地の流通を支える一般国道4号は、慢性的な交通渋滞に悩まされ騒音・振動など沿線住民はもとより一般道路利用者の通行にも大きな影響を与えている現状がある。

また、雪国の特殊事情として、物流の根幹をなす高速自動車道が冬期間においては、たびたび通行止めになり、並行する国道4号が大渋滞、道路機能が麻痺する状況が発生する。この状況に対応するためにも、国道4号の機能強化が急務となっている。

こうした中で、誘致企業の円滑な物流機能の確保した上で、東北を代表する工業地帯としてさらなる発展をめざすために、すべての季節を通じ一般国道4号の渋滞緩和・定時性確保の実現、幹線道路である県道や生活に密着した市町村道についても広域的で計画的な整備を図るものである。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岩手県金ケ崎町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○その他
国道4号金ケ崎区間の早期4車線化	<p>金ケ崎町は、県内最大規模の工業団地を有し、工業製品の出荷や従業員の通勤車両の増加、さらには平成16年に大型ショッピングセンターが開店したことにより国道4号の交通量は増加し、交通渋滞が年々悪化しております。</p> <p>地域産業・経済の活性化を促進するため一般国道4号の機能強化、特に県立金ケ崎高等学校北側交差点から北上市相去町笹長根地内までの早期事業化について強く要望いたします。（一般国道4号金ケ崎区間拡幅要望）</p>	<p>一般国道4号の金ケ崎地区の渋滞緩和により、関連産業の物流機能の確保。渋滞緩和による沿道環境の改善。CO2削減による地球環境改善への寄与。</p>	

国道4号『金ヶ崎区間の4車線化』早期着工

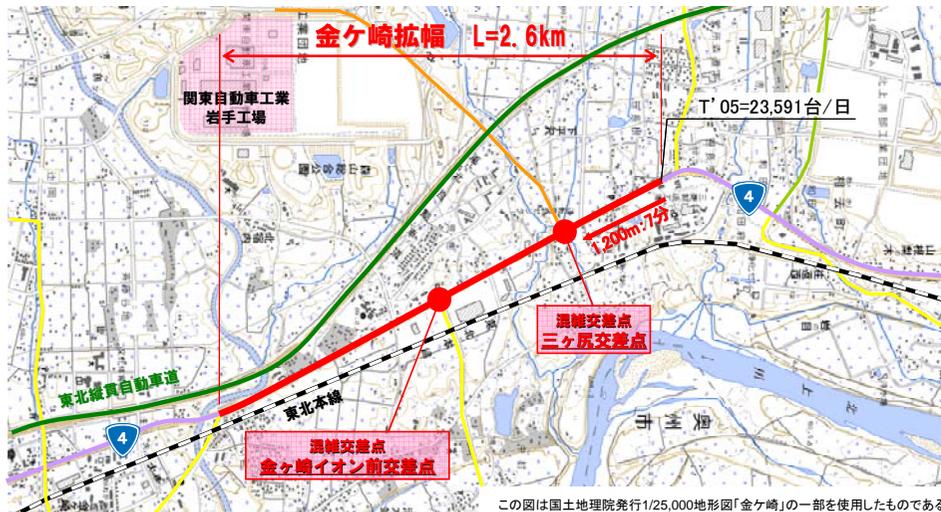
これが金ヶ崎町民の願いです！

岩手県 金ヶ崎町

- 金ヶ崎町は、東北を代表する先端技術産業及び自動車産業等が集積する工業地域となっており、国道4号はこれらの工業団地の流通を支える重要な幹線道路です。
- しかし、近年の交通量増加等に伴い、交通事故件数も増大しており、当該区間では過去10年間で177件の死傷事故が発生している事故多発区間となっています。
- また、平成18年度には交通事故による全面通行止め時間が当該区間で延べ6時間23分(3件)発生しており、物流の円滑化に重大な影響を与えています。

【早期の4車線拡幅を！】

- 当地区の4車線化整備により、事故減少が図られ安全性の高い交通が確保されることで、物流の円滑化・地域産業の活性化が期待できます。



【金ヶ崎拡幅区間で発生した事故状況】

